

第27回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会 (プログラム)

日 時：令和元年11月2日(土) 13:20から

場 所：金沢市アートホール 金沢駅前

ポルテ金沢 6F (ホテル日航隣)

金沢市本町2丁目15番1号 TEL 076-224-1660

当番世話人：福井県済生会病院 潮木 保幸

一般演題

13:30-14:10 (腎炎・腎症)

座長 金沢医科大学医学部 腎臓内科学 古市賢吾

1 Monoclonal gammopathy of renal significance (MGRS) との鑑別を要した高齢発症シェーグレン症候群に伴うクリオグロブリン腎症の1例

金沢医科大学医学部 腎臓内科学

○藤井 愛、楠野優衣、白川智彦、野村和利、
加賀谷 侑、熊野 奨、鶴山祐子、山崎恵大、
松浦寿一、岡田圭一郎、沖野一晃、藤本圭司、
足立浩樹、古市賢吾、横山 仁

80代女性。特発性間質性肺炎、IgA κ 型・M蛋白血症と診断され他院通院中、両側下腿浮腫、尿沈渣異常、低補体血症をきたし当科紹介となった。臨床所見および腎生検の結果、高齢発症シェーグレン症候群を背景に、慢性的な免疫刺激応答によるクリオグロブリンに伴う膜性増殖性糸球体腎炎像と診断した。Monoclonal gammopathy of renal significance (MGRS) との鑑別を要した貴重な症例と考え、治療経過を含め報告する。

2 S状結腸癌に伴うTHSD7A染色陽性膜性腎症の一例

金沢医科大学医学部 腎臓内科学

○松浦寿一、野村和利、白川智彦、楠野優衣、
藤井 愛、熊野 奨、加賀谷 侑、鶴山祐子、
山崎恵大、岡田圭一郎、沖野一晃、藤本圭司、
足立浩樹、古市賢吾、横山 仁

80歳代、女性。持続する尿蛋白の精査目的で紹介となり腎生検を施行。免疫蛍光抗体法によりIgG1陽性、IgG2～4 - or ±、PLA2R陰性、THSD7A陽性の膜性腎症と診断した。悪性疾患に伴う二次性膜性腎症を疑い全身検索を施行し、下部内視鏡でS状結腸癌を認めた。腹腔鏡下S状結腸切除術施行後、完全寛解した。THSD7A染色が診断・治療に有用であった一例であり報告する。

3 顕微鏡的多発血管炎（MPA）と血栓性微小血管障害症（TMA）を同時発症した一例
国立病院機構金沢医療センター 腎・膠原病内科

○安達永里子、加治貴彰、迫 恵輔、北川清樹

症例は80代男性。元々、気管支拡張症で当院に通院していた。20XX年3月下旬から血痰が出現するようになった。気管支拡張症による血痰が疑われたが、経過で急速進行性糸球体腎炎や間質性肺炎、破碎赤血球を伴う血小板減少の出現があり、精査の結果MPA、TMAと診断した。MPAとTMAの同時発症は稀であり、治療経過とあわせて報告する。

4 Selective PEにより救命しえた重症肺胞出血、急性腎障害を合併した顕微鏡的多発血管炎の1例

金沢医科大学医学部 腎臓内科学

○白川智彦、沖野一晃、鶴山祐子、松浦寿一、藤本圭司、
足立浩樹、古市賢吾、横山 仁

60代女性。喀血を主訴に入院となり、肺胞出血、急速進行性糸球体腎炎（Cr20.6mg/dL）、MPO-ANCA249U/mLを認めたため顕微鏡的多発血管炎と診断した。人工呼吸器管理、血液透析施行となったが、速やかに選択的血漿交換療法及びステロイド治療を施行したことより第17病日に抜管となった。透析離脱は困難であったが、最終的にMPO-ANCA 3.3U/mlまで改善を認め退院となった。

14:10-14:50 (遺伝性疾患・AKI・その他)

座長 金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科 原 怜史

5 ネフローゼ症候群を契機に診断したアルポート症候群の1例

石川県立中央病院 腎臓内科・リウマチ科

○永嶋朋恵、堀田成人、鈴木一如、中島昭勝

金沢大学附属病院 リウマチ・膠原病内科

原 怜史、川野充弘

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座小児科

野津寛大

44歳女性。9歳時に尿潜血・尿蛋白を指摘された。ネフローゼ症候群を契機に腎生検を施行し、電子顕微鏡で糸球体基底膜の不規則な肥厚と緻密層の網目状変化がみられ、アルポート症候群と診断した。遺伝子診断でCOL4A3遺伝子に新規のヘテロ接合体ミスセンス変異 (c.1909G>A, p.Gly637Asp) を検出し、常染色体優性型が強く疑われた。

6 常染色体優性尿細管間質性腎疾患の1家系

富山県立中央病院 内科 ○篠崎康之、石坂真菜、平澤慧里子、林 大輝、

牧石祥平、能勢知可子、川端雅彦

富山市民病院 内科

大田 聡

40歳代男性、健診で腎機能低下 (クレアチニン 1.5 mg/dL) を指摘され当院を受診した。母方家系に腎不全の家族歴があり、母親は腎生検で尿細管間質性腎炎と診断され、末期腎不全に至っている。本例も腎生検で尿細管間質性腎炎と組織診断した。病因となり得る疾患を鑑別し、臨床的に常染色体優性尿細管間質性腎疾患と診断した。

7 侵襲性カンジダ症から急性腎不全を来した1例

高岡市民病院 内科

○平田昌義

【症例】88歳男性。偽膜性腸炎でX年10/4当院入院。10/16発熱、血培でcandida tropicalisが検出され、抗真菌薬開始。10/28MRSA肺炎による呼吸不全を来し、人工呼吸器装着。10/30敗血症性ショック。胃内にAMPH投与開始。10/31輸液ルート混濁し、同部位からcandida tropicalisが検出。11/3乏尿、全身浮腫でAKI、DICと診断。CHDF開始。11/19 β -D-グルカン18640pg/mlと高値。11/30血培陰性で抜管。12/10透析離脱した。【考察】candida tropicalis血症の経過中に敗血症性ショック、AKIを来したが、集学的治療で救命し得た1例を報告した。

8 悪性症候群経過中に高カルシウム血症を発症した一例

福井県済生会病院 内科 ○宇野仁美、上川康貴、加藤珠代、潮木保幸

40歳代男性。意識障害のため搬送となり、全身性痙攣、異常発汗、39度を超える発熱などから悪性症候群と診断した。横紋筋融解症を合併し2度の血液透析を要した。第18病日、高Ca血症（12.9 mg/dL）を認めた。FECa 7.4%であり、PTHおよび1, 25-(OH) 2VitDは抑制されていた。エルシトニン40U/日および生食1000mL/日の補液を追加し、速やかに改善を認めた。悪性症候群に伴う横紋筋融解症例の回復期には高Ca血症の併発に留意する。

14:50-15:30（透析・移植の合併症）

座長 金沢大学附属病院 腎臓内科 坂井 宣彦

9 鎖骨下静脈VAIVT前後のシャント肢重量変化の評価にInBody計測が有用と考えられた一例

(1) 医療法人社団 瑞穂会 みずほ病院

(2) 金沢大学附属病院 腎臓内科

○黒川幸枝⁽¹⁾、海古井大智⁽²⁾、梶川 尚⁽²⁾、北島信治⁽²⁾、
坂井宣彦⁽²⁾、宇野傳治⁽¹⁾、能登 稔⁽¹⁾、和田隆志⁽²⁾、
越野慶隆⁽¹⁾

症例：70歳台女性。X-10年にHD開始。左鎖骨下静脈狭窄で血管内治療を繰り返し、X-2年に左鎖骨下静脈ステント留置。X年Y月に左鎖骨静脈VAIVTを施行した。VAIVT治療前後にIn Body計測を行い、シャント肢である左腕の水分量は2.57Lから1.62Lへ減少した。シャント肢重量変化に応じた基礎体重の下方修正に有用である可能性が示唆された。

10 左腋窩に副乳癌を発症した高齢男性透析患者の1例

公立能登総合病院 内科 ○辻本有瑳、山端潤也、泉谷省晶、藤岡正彦、吉村光弘

【症例】90歳代、男性【主訴】左腋窩腫瘍【現病歴】X-2年から維持血液透析中。左腋窩に腫瘍を自覚しが徐々に増大し、X年に精査を行った。CTでは43mm大の境界明瞭、内部は均一な腫瘍が見られた。全摘出を行い、遺残した副乳由来の浸潤性乳管癌と診断した。【考察】副乳癌は全乳癌の0.2～0.6%、男性例は其中でも2.4～5.3%と極めて少なく治療法も確立されていない。高齢男性に発症した副乳癌は稀な症例と考え報告する。

11 ADPKDによる慢性腎不全にて維持血液透析中、*Helicobacter cinaedi*による腎嚢胞感染を発症した一例

公立松任石川中央病院 腎高血圧内科⁽¹⁾、同 検査室⁽²⁾、公立つるぎ病院 内科⁽³⁾

○森山陽介⁽¹⁾、岡本俊介⁽¹⁾、舟本智章⁽¹⁾、山村雄太⁽¹⁾、
高枝知香子⁽¹⁾、塩土菜緒子⁽²⁾、坂上有喜子⁽²⁾、
高澤和也⁽³⁾

50代男性。7年前からADPKDによる慢性腎不全にて維持血液透析中であった。39℃台発熱と四肢紅斑を主訴に当院を受診した。H. cinaediによる腎嚢胞感染と診断したが、治療に難渋した。H. cinaedi感染症はまれな疾患であるが、血液透析患者など易感染状態で発症し、しばしば再発を繰り返すため、留意すべきである。

12 S状結腸憩室炎の治療に難渋した献腎移植後19年目の1例

金沢大学附属病院 腎臓内科

○山本侃暉、北島信治、小倉央行、佐藤晃一、宮川太郎、
遠山直志、原 章規、岩田恭宜、坂井宣彦、清水美保、
和田隆志

60歳代男性。X-27年に維持透析に導入した。X-19年に献腎移植術を施行した。X-1年11月にS状結腸憩室炎を発症し、以後、再発を繰り返した。X年6月24日のCTで膿瘍形成を疑われ、絶食・抗菌薬加療を行うも改善を認めなかった。7月27日にハルトマン手術を施行し、以降炎症は鎮静化した。腎移植後の憩室炎では難治性となることがあり、時宜を得た手術が望まれる。

テーマ演題Ⅰ（献腎移植）

15:30-16:00

座長 金沢医科大学医学部 腎臓内科学 横山 仁

13 20歳未満の優先制度施行後の小児献腎移植北陸第一例目

福井大学 腎臓内科

○糟野健司、西森一久、西川雄大、横井靖二、西川 翔、
森田紗由、小林麻美子、福島佐知子、三上大輔、
高橋直生、木村秀樹、岩野正之

福井大学 泌尿器科

伊藤秀明、多賀峰克、小林久人、秋野裕信、横山 修

福井大学 腎センター

柿並ありさ、鈴木萌瑚、平井風咲

2018年10月1日「腎臓移植希望者（レシピエント）選択基準」が改正され、ドナーが20歳未満の場合は、20歳未満のレシピエントが優先されるようになった。本例は改正後北陸第1例目、全国第7例目であった。症例は17歳女児。先天性腎機能低下が原因で3年前から腹膜透析を受けていた。移植後7か月経過し経過は良好である。

14 19日間の移植腎機能発現遅延（DGF）を呈したHBc抗体陽性脳死下献腎移植の1例

福井大学 腎臓内科

○糟野健司、西川雄大、西森一久、横井靖二、西川 翔、
森田紗由、小林麻美子、福島佐知子、三上大輔、
高橋直生、木村秀樹、岩野正之

福井大学 泌尿器科

伊藤秀明、多賀峰克、小林久人、秋野裕信、横山 修

福井大学 腎センター

柿並ありさ、鈴木萌瑚、平井風咲

61歳女性。15年前にIgA腎症による慢性腎不全で透析導入となっていたが、X年3月16日献腎移植施行した。総阻血時間11時間30分。術中に初尿を認めるも利尿が乏しく、1PODからCHDF開始となった。12PODから尿量は徐々に増加し、20PODにCHDFを離脱した。HBc抗体陽性も肝炎発症やHBV-DNA上昇はなく、腎機能もsCr 0.8-1.0mg/dlまで改善を認め、36OPD退院となった。

15 献腎移植報告

富山県立中央病院 泌尿器科

○武澤雄太、神島泰樹、町岡一顕、島 崇、瀬戸 親

富山県立中央病院 腎臓内科

○牧石祥平、平澤慧里子、能勢知可子、篠崎康之、
川端雅彦

レシピエントは50歳代男性。透析歴は15年で、IgA腎症により血液透析導入となり、2001年10月に生体腎移植術を受けていた。その後慢性拒絶により2004年から腹膜透析を開始し、2012年にはハイブリッドへ移行し以降継続していた。今回2018年11月、心停止下献腎移植を施行した。ドナーは70歳代と高齢であった。現在Cr3程度で推移している。

テーマ演題Ⅱ（災害対策）

16：10－17：00

座長 藤田記念病院 内科 宮崎良一
富山市立富山市民病院 内科 石田陽一

（オープニング 潮木保幸）

16 福井豪雪2018を経験して

福井県透析施設ネットワーク ○宮崎良一

【目的】福井県における2018年豪雪災害を経験して、その実態を調べ、ネットワークとしての今後の課題を検討した。【対象】福井県下で血液透析を行っている28の全透析施設と施設を通して全患者1,743人にアンケート調査を行った。【結果】アンケート回収率は、施設回収率92.0%で、患者回収率は92.8%であった。【問題点】アンケート結果より1. 県の除雪対策の問題、2. 自施設の除雪対策、3. 電話回線がパンク、4. 災害伝言ダイヤルが使用不能、5. 一部ネットワーク内の連携の不備などの問題があった。【対策】透析施設間は従来のメーリングリストに加え、LINE GROUPを作り、より連携を深めることとした。

17 透析施設における雪害対策に対する実態調査2018

みずほ病院 看護部 ○澤田清美（石川腎不全看護研究会）
公立羽咋病院 看護部 森本ゆかり（石川腎不全看護研究会）

「平成30年北陸豪雪」は交通網寸断など北陸3県の医療機関に大きな影響を与えた。災害弱者である透析患者そして職員の来院状況、連絡体制や外部との連携、患者指導と看護介入について石川県・福井県の透析施設70軒に調査を依頼し実態・課題などをまとめた。課題として、備蓄・通院や連絡手段の整備、患者指導の充実、連携の強化などが挙げられた。

18 平成16年7月福井豪雨災害体験からの当院における災害への体制づくり

福井赤十字病院 集中治療室 朝田和枝

平成16年7月17日（土）、この日私は救急外来で当直し、朝方まさにバケツをひっくり返したように降る雨を眺めながら、まさかこの雨が後々甚大な被害を及ぼすことになるとは想像もつきませんでした。今回当時私が救急外来で体験したこと、院内や病院周辺の状況と、そして現在当院で行われている災害への体制づくりについてお話します。

19 加賀市医療センターでの透析供給装置の停止とその影響と課題

加賀市医療センター 腎臓ケアセンター

○大田一美、中野裕子

加賀市医療センター 内科

水富一秋、鈴木康倫

平成29年10月11日、当院でシリコンチューブ破損による透析液漏れのため漏電により、透析液供給が停止した。緊急透析停止、午後患者の透析中止によりシフト変更時の実際から課題を明らかにした。透析停止時の対策と、指揮系統、院内・院外連絡体制の徹底、日常の災害に対する準備の重要性を述べる。

20 腸管出血性大腸菌O111集団感染時の富山県内の危機対応を振り返って

富山大学附属病院 第二内科

○小池 勤、山崎秀憲、掛下幸太、藤岡勇人、小林詩織、
清澤泰午、清水英子、絹川弘一郎

2011年に富山県で発生した腸管出血性大腸菌O111集団感染は、溶血性尿毒症症候群を34名、急性脳症を21名に発症する大惨事となった。当時の当院を含めた富山県内での対応を振り返り、将来起こりうる災害対策に対する危機管理の上で、日頃からの院内外での連携強化が重要であることを再認識した。

特別講演

17:00-18:00

座長 福井県済生会病院 内科 潮木保幸

「突然の震災に備えてー透析施設の災害対策ー」

JCHO仙台病院 腎センター 木村朋由 先生



免疫抑制剤 (mTOR阻害剤)

薬価基準収載

サーティカン錠 0.25mg
0.5mg
0.75mg

劇薬 処方箋医薬品

注意－医師等の処方箋により使用すること

CERTICAN®

エベロリムス錠

サーティカンホームページ <http://www.certican.jp>



薬価基準収載

急性拒絶反応抑制剤 (抗CD25モノクローナル抗体)

シムレクト® 静注用 20mg
シムレクト® 小児用 静注用 10mg

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品

注意－医師等の処方箋により使用すること

SIMULECT® バシリキシマブ (遺伝子組換え) 静注用

シムレクトホームページ <http://www.simulect.jp>



薬価基準収載

免疫抑制剤 (カルシニューリンインヒビター)

ネオラル® 10・25・50mg カプセル
内用液 10%

劇薬 処方箋医薬品

注意－医師等の処方箋により使用すること

Neoral®

シクロスポリン製剤

ネオラルホームページ <http://www.neoral.jp>

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む
使用上の注意等については、製品添付文書
をご参照ください。

製造販売

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門 1-23-1 〒105-6333

〈資料請求先〉

NOVARTIS DIRECT

0120-003-293

受付時間：月～金 9:00～17:30
(祝日及び当社休日を除く)

www.novartis.co.jp

2016年12月作成

たった一度の
いのちと
歩く。



KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成

経口そう痒症改善剤 劇薬、処方箋医薬品[※]

薬価基準収載

レミッチ[®] OD錠 2.5μg

REMITCH[®]

一般名：ナルフラフィン塩酸塩

注）注意－医師等の処方箋により使用すること

本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

‘TORAY’

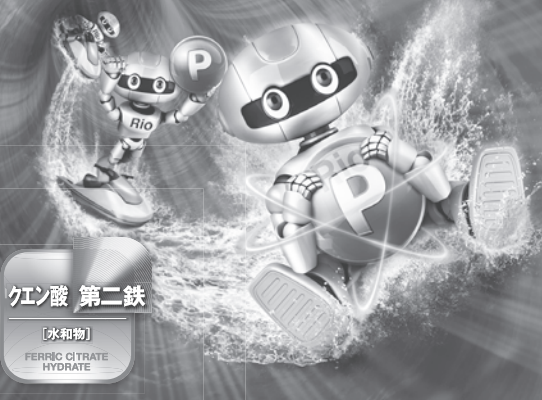
製造販売元
東レ株式会社
東京都中央区日本橋本町二丁目1番1号



販売元(資料請求先)
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1
<http://www.remitch.jp>

提携
日本たばこ産業株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

プロモーション提携
(慢性肝疾患患者におけるそう痒症)
大日本住友製薬株式会社
大阪市中央区道修町2-6-8



クエン酸 第二鉄

【水和物】
FERRIC CITRATE
HYDRATE

高リン血症治療剤 処方箋医薬品[※]

薬価基準収載

リオナ[®] 錠250mg

Riona[®]

一般名：クエン酸第二鉄水和物

注）注意－医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

リオナ[®]製品情報サイト <http://www.riona.jp/>

資料請求先：鳥居薬品株式会社 お客様相談室 TEL 0120-316-834 FAX 0120-797-335



販売元
鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1



製造販売元
日本たばこ産業株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

2018年6月作成



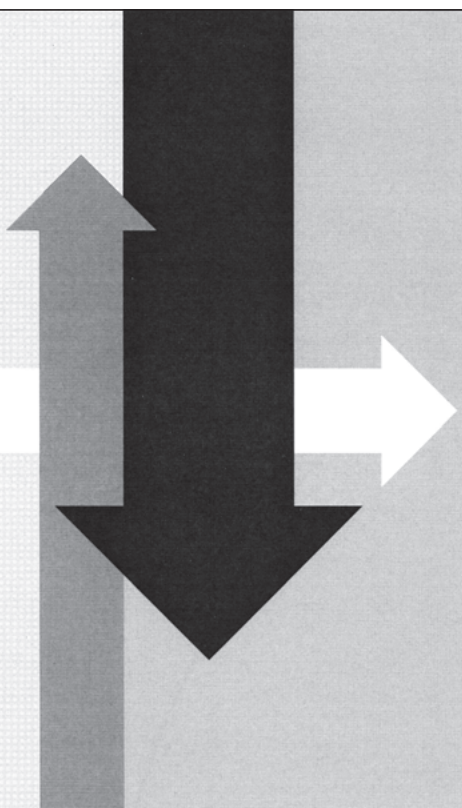
MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

私たちは、薬物治療にとどまらず、
 食事療法や運動療法など、
 糖尿病治療全般に関わる情報提供を、
 積極的に行ってきました。
 今後もさらに、多角的なアプローチで、
 ソリューションを提供いたします。
 糖尿病領域における
 真のパートナーを目指して——
 これまでも、これからも、
 MSDはチャレンジしつづけます。



2019年1月作成
 JAN18AD0013BH-1020



高リン血症治療剤

ホスレノール® チュアブル錠 250mg 500mg (経口崩壊錠)
 顆粒分包装 250mg 500mg (経口崩壊錠)
 OD錠 250mg 500mg (経口崩壊錠)

(炭酸ランタン水和物チュアブル錠 / 顆粒剤 / 口腔内崩壊錠)
 処方箋医薬品[※] 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】
 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

本剤の「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。



Bayer

資料請求先
 バイエル薬品株式会社
 大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://byl.bayer.co.jp/>

PP-FOS-JP-0009-18-06
 2018年6月作成

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

〈メ 毛〉

This image shows a full page of blank, lined paper. It features approximately 28 horizontal blue or grey lines spaced evenly apart, typical of notebook paper. The lines extend across the entire width of the page, leaving small margins at the top and bottom. There are no vertical lines, text, or other markings on the page.

*発表7分、討論3分でお願いします。

*パソコン(Windowsのみ)発表とします。Windows7以降で作成したPowerPoint 2010
あるいは2013fileをUSBフラッシュメモリーもしくはCD-Rでご持参下さい。

*会場費1,000円をお支払い下さい。

*客席内は飲食禁止です。(ホワイエ・エレベーターホールは可)

*駐車場の割引券の発行はありません。

*単位について

日本透析医学会 (5単位)

日本泌尿器科学会 (3単位)

日本腎臓学会専門医制度 (1単位)

日本腎不全看護学会 (2単位)

以上の単位が認定されます。

北陸腎疾患・血液浄化療法研究会事務局

〒920-0293

河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学 腎臓内科学教室内